



幼児教育センターだより

富山県教育委員会 教育みらい室 小中学校課
富山県幼児教育センター

幼児教育推進リーダー育成研修会



幼児教育センターでは、幼児教育推進リーダー育成研修として、年間5回の研修を計画しています。

育成研修の受講者は、理論編として、県内で実施されている研修会等の中からリーダーとして求められる資質・能力にかかる内容の講座を2つ選び、受講します。また、実践・支援編として、幼児教育施設訪問への参加、協力園での研修、県外大学教授等の講演を受講します。

ー実践・支援編（@下堀こども園）ー

【実施日】8月26日（月）

【参加者】幼児教育推進リーダー育成研修受講者

【内 容】・保育参観

- ・保育参観の振り返り
- ・公開保育を基にした研修会
- ・研修会の振り返り
- ・訪問研修についての意見交換



「保育場面における子ども理解」「子どもの発達状況を踏まえた保育者の関わりや援助」「園・所に対する共感的な理解とその思いに寄り添った発言、支援」についての研修を行いました。

研修後、参加された育成研修受講者からは、「来年度から幼児教育推進リーダーとして訪問研修に参加することに不安を感じていたが、今日の研修で様々なご意見やアドバイスを聞いて、不安が薄まった。より多様な保育の現場を見ること、たくさんの保育者と出会うことで、見方、考え方を豊かにしていきたい」などの感想をいただきました。

幼児教育研究協議会

【実施日】8月23日（金） オンライン

【参加者】県内幼児教育関係者約120名

【内 容】①教育事務所指導主事による伝達講習「幼稚園教育について」

②黒部市立さくら幼稚園による発表、協議、指導主事の講評

※伝達講習や発表の概要は、富山県総合教育センターHPより閲覧可能

（10月末日まで）

オンラインでのグループ協議は、短い時間ではありましたが、どの班も、日頃の取組を熱心に話し合い、充実した時間となりました。



幼保小の円滑な接続について

—青山幼児教育スーパーバイザーのお話から—

幼…幼児教育
※保…保育
小…小学校教育

を表します。

「子ども主体の保育」について、幼保小接続の面から考えてみましょう。

幼児教育施設訪問研修でも、「主体的な遊びを引き出す保育者の関わりや支援について」を研修テーマにあげる園が多くあります。また、小学校教育でも「主体的な学び」の実現に向けて、日々実践されているところですよ。

「子ども主体の保育」を大事にすると、集団活動ができないのでは？と心配する声も聞かれます。先日の幼児教育推進リーダー育成研修でも、「子ども主体」「主体的な遊び」が話題に上がりました。

汐見稔幸先生は、『子ども主体の保育』というのは、それぞれが好きだけ好きなことをやればよいという意味ではありません。自分でやりたいことを見つけて、方法を考えて達成していくことです。」と話しておられます。

「子ども主体の遊び」には、「個々の主体」と「共同の主体」があります。それぞれの遊びをしながら関わりが生まれ、一つの遊びに発展していく。「自分の遊び」が、友達との関わりの中で気持ちが一つになって動いていく。そして、「自分たちのやりたいこと」「自分たちの遊び」になっていく。そこに「共同の主体」が生まれているのです。その中で、相談し、みんなでアイディアを出し合いながら、みんなで決めて、活動を楽しむという経験を重ねています。

そんな経験をしながら育っていること、つまり、小学校での「主体的な学び」のねこが幼児教育の中の「共同の主体」にあることを、ぜひ、小学校に伝えてください。



【10・11月の主な予定】

10月

- 4日（金）幼児教育研究委員会
- 17日（木）園長等運営管理協議会
- 22日（火）第2回幼児教育推進連絡協議会
- 23日（水）新規採用教員研修会

11月

- 6日（水）アドバイザー研修会
フォローアップ研修会
- 13日（水）地区別幼・小接続研修会(高岡)
- 14日（木）地区別幼・小接続研修会(砺波)
- 15日（金）訪問研修からの学びを語る会
- 19日（火）地区別幼・小接続研修会(富山)
- 20日（水）中堅教諭等研修会
- 21日（木）地区別幼・小接続研修会(新川)
- 22日（金）新規採用教員研修会



令和6年度版 安心子育てリーフレット



「きときと1年生」を配布しました！

県内の幼児教育施設と小学校に配布しました。今年度から、小学校の就学時健康診断等で令和7年度入学児童の保護者の手に渡るようになっています。ぜひ、ご活用ください。

